科目名（英文表記）	ビジネスプランニングⅠ（Business Planning Ⅰ）		
科　目　区　分	実践科目	単　位　数	2　単位
担　当　教　員　名	泉　貴嗣・藤原健祐・（非）井馬智行・（非）石河統將・（非）幾世橋歩	ナンバリング	MBA_P_BP 5411
研　究　室　番　号	泉（420） 藤原（418）	研究室電話番号	泉　(27-5490) 藤原（27-5492）
Ｅ－メール・アドレス	泉（c-cat22@res.otaru-uc.ac.jp） 藤原（k-fujiwara@res.otaru-uc.ac.jp）		

授業の内容及び方法：次頁以降に記載

授業の目的：

本授業では、基本科目や基礎科目で学習した多様な知識や分析・デザインスキルを前提として、次の二点を到達目標として置いています。

① ビジネスの基礎的な単位であるスモールビジネスをテーマとして、プランニングに有益な各種の分析フレームワークやスキルを、ビジネスプラン策定の場で「合理的・整合的に用いる」センスと実践的な能力を身につけること。

② 実現可能性が高く、他者に対する強い説得力を有するプランを策定し仕上げるための「練り上げ／練りこみ」プロセス（プランニングのための分析・検討・立案をくり返すことによるプランの品質向上のプロセス）の必要性を理解し習熟すること。

③ ビジネスプランを実行するにあたって必要な機会やリソースを獲得するために、ステークホルダーに応じた資料を作成できるようになること。

授業では、これら 3 点を達成するために、一定のテーマに沿って、“ターゲッティング”や“顧客に提供する価値”“価値の提供の仕方”など一連のビジネスプロセスを盛り込んだプランニングをグループで取り組みます。

具体的には、皆さんが着想したビジネスアイデアを基に、ビジネスコンセプトの構築、業界／競合や市場／顧客に関わる認識、当該事業を成功に導くための戦略構築や将来的な成長を展望したフェーズ計画を構想し、それらを「プレゼンテーション資料」および「事業計画書」として取りまとめます。

この授業を通して身につけてもらいたい主な分析能力と創発的能力・センスは、“ビジネスアイデア／ビジネスコンセプトの想定”“業界構造分析”“市場分析・ターゲティング”“価値連鎖分析”“SWOT 分析”“戦略構築”“ビジネスフローの設計”“財務予測”などです。

使用教材：

テキスト：小樽商科大学ビジネススクール編『MBA のためのビジネスプランニング 改訂版』同文舘出版,2012 年

参考文献：小樽商科大学ビジネススクール編『MBA のためのビジネスプランニング手法』同文舘出版,2010 年（現在品切れにつきサテライトの書架を利用のこと。）

上記以外の参考文献ならびに授業時に使用する各種資料等については、随時、manaba 上にアップロードします。